

グループ紹介 大正琴(いちご&yuu)



私たちは大正琴の演奏を通して、ふれあいを大切に行っているグループです。琴衛会の衛藤先生のご指導のもと、竜北歴史資料館と氷川町公民館で練習を重ねています。
大正元年に作られたお琴が百年過ぎてもなお愛されるのは、その響きにあるのでしょうか。

大正琴の魅力にとりつかれ独学で学んだ人が、ひとりふたりと友達を誘い、先生と出会い、今では九人の輪になっています。
最近では「演奏会に来て」とお声をかけられ、福祉施設やお寺さま、地区のお祭り等で演奏しています。

時には途中で手が止まったりしますが、皆の笑顔で許してもらっています。

ドレミが読めなくても弾けます。1・2と数えるだけ。認知症の予防効果も期待できそうです。

弾いてみたい方は、是非、体験してください。お一人でも、男性でも大歓迎です。大正琴の優しい音色に癒やされましょう。

大正琴(いちご&yuu)
連絡先 上田 美沙子
090-1161-3199

表紙の ひびく

毎年、十一月は私たちが所属する「近代大正琴・琴衛会」の発表会が開催されます。
県内外

から多くの仲間が集い、日頃の練習の成果を披露します。
私たちも、この日を目標に一生懸命練習し、また、華やかな衣装に負けない美しい心で、気持ちを一つに合せて弾きます。
お客様に大正琴の優しい響きとハーモニーの素晴らしさを伝えようと頑張って練習しています。



編集後記

先日、名古屋市で中学1年生の男子生徒がいじめを苦に電車に飛び込み自殺をしました。
自殺した生徒の両親は「いじめられているとは聞いたことがなかった」、学校も「いじめの情報を把握していなかった」と報道されています。
いじめの実態が事前に把握されずに、事件後にいじめがあったということが分かりました。
どうして尊い命を救うことができなかったのかと残念でなりません。
いじめは、子どもだけの問題ではなく、「パワハラ」など大人社会でも起きているが、いつの時代でも弱者がいじめの対象になっているように思います。
どんな理由があれ、「いじめは絶対やってはいけない」ということを家庭や学校、地域社会でつくり上げていく必要があるのではないのでしょうか。
(ま)

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 松田達之
 - 副委員長 河口涼一
 - 委員 江崎 悟
 - 委員 長尾憲二郎